

コロナ変異種伊や豪でも

英などからの入国禁止する動き

英国で確認された強い感染力を持つとされる新型コロナウイルスの変異種が、イタリアや豪州などでも見つかった。感染力がこれまでより最大で7割高いとされ、クリスマス休暇で人の行き来が増えるのを前に、世界各国が英国などからの入国禁止に乗り出した。開発されたワクチンは変異種にも有効とされ、欧州連合(EU)は正式承認した上で、月内に接種を一言スタートさせる方針だ。

▼国際面II ワクチン接種前のめり

英国のハンコック保健相は20日、「(変異種を)制御できていない状態だ」と認めた。英政府によると、変異種は9月に国内で出現。現在英国で流行しているウイルスのうち、変異種が支配的な型になりつつある。11月後半にロックダウン(都市封鎖)を導入したにもかかわらず、12月に入院患者が急増した原因になったとみられるという。

世界保健機関(WHO)によると、英国と同じ変異種がデンマークで9件、オランダ、豪州で1件ずつ確認された。イタリア保健省は20日、数日前に英国から航空便でローマに到着した乗客から変異種が見つかったと発表。21日から英国からの航空便乗り入れを停止した。

フランスやドイツなど、欧州の国々は秋の第2波の

官房長官「日本では未確認」

加藤勝信官房長官は21日の記者会見で、英国で見つかった新型コロナウイルスの変異種について、「国立

さなかも、英国との行き来を原則的に認めていた。変異種はすでに広がっている可能性がある。フランスのペラン保健相は21日、「変異種がフランスですでに流行している可能性は十分に

英、往来・物流混乱広がる

各国が相次いで英国からの入国を禁止し始めた。旅客や貨物の移動が突然断られた英国内には混乱が広がっている。

21日朝、ロンドン市内にある英国と欧州大陸を結ぶ高速鉄道ユーロスターの玄関口、セントパンクラス駅にある掲示板は、各便の運行中止を告げていた。

通常のクリスマス前の帰省客らでこったがえすが、人影はまばら。パリで美容品店を営むジュリアン・サヒさん(39)は、3泊の出張でロンドンを訪れ、この日朝に帰国予定だった

12/22 朝日

ある」と指摘。WHOによると、従来より重症化しやすいという証拠は見つっていないという。

欧州連合(EU)議長国ドイツのシュパーン保健相は20日、EU当局の専門家と協議した結果、開発されているワクチンは変異種にも「有効だ」と地元メディアに語った。EUは近く米製薬大手ファイザーなどが開発したワクチンを承認し、「接種デー」を定めて

一斉接種を始める見通しだ。(パリ)足田多鶴、ロンドンII 下司佳代子

海峽を使って仏側へ渡る流れも止まった。英BBCなどは、ドーバー港へ通じる道路に貨物トラックが長蛇の列をつくる様子を繰り返して伝えている。

仏側から英国に向けての貨物などは今のところ入れない。ただ、EU側に戻れなくなることを恐れ、業者が慎重になっているとの情報もある。事態が長引けば、英国がEUに供給を頼る生鮮品が品薄になるなど生活増しを急いでいるからだ。

以降に感染を広げたウイルスにもあり、少なくとも10月末現在、国内で調べられたほぼ全てのウイルスに受け継がれている。

が、予約した電車がいない。16歳の息子とクリスマスMASを祝えるのか。どうしたら良いかわからない」

刻だ。フランス政府は、英国からフランスに入るすべての交通を一時停止。英国と欧州連合(EU)間の物流の大動脈であるドーバー

1日に約1万台のトラック

東京医科大学の濱田篤郎教授(渡航医学)は、現時点で確実なことは少ないとしたが、感染力が高まる変異種だとすれば、仮に重症化のしやすさが従来と変わらなくても、さらに感染者が増えて医療体制が逼迫するおそれもある」と警戒を呼びかける。「この変異をもつウイルスが日本に入ってくる可能性もある。広がり方を注視する必要がある」と話した。

変異は日常的、重症化への影響は一部

変異はウイルスが増える過程で日常的に起こる。ウイルスの「設計図」である遺伝情報をコピーする際にミスが起きるからだ。た

は、新型コロナウイルスがヒトの細胞に感染するとき重要な役割を果たす「突起」部分に関する変異だ。

現時点ではこの変異が、ウイルスの性質やワクチンなどに与える影響は十分わかっていない。

て、その可能性を精査する必要がある。

これまでに、新型コロナウイルスの感染力を高めたものとして知られるのは「D614G」という変異だ。2月ごろに欧州などで確認され、世界中に一気に広がった。この変異は、日本で2月

変異はウイルスが増える過程で日常的に起こる。ウイルスの「設計図」である遺伝情報をコピーする際にミスが起きるからだ。た

は、新型コロナウイルスがヒトの細胞に感染するとき重要な役割を果たす「突起」部分に関する変異だ。

現時点ではこの変異が、ウイルスの性質やワクチンなどに与える影響は十分わかっていない。

て、その可能性を精査する必要がある。

これまでに、新型コロナウイルスの感染力を高めたものとして知られるのは「D614G」という変異だ。2月ごろに欧州などで確認され、世界中に一気に広がった。この変異は、日本で2月